

平成 19 年 9 月 8 日
北 海 道 開 発 局

釧路川河川整備計画（国管理区間）（原案）に寄せられたご意見について

(1) 原案の縦覧

【①縦覧期間】

平成 19 年 7 月 11 日（水）～平成 19 年 8 月 13 日（月）

【②縦覧箇所】

釧路川流域市町村（釧路市（本庁舎・阿寒行政センター）、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村）、釧路開発建設部（本部、釧路河川事務所）、釧路土木現業所（本所、弟子屈出張所）

(2) 原案に関する地域説明会

【開催概要】

3 回開催 参加者 47 名（記名者）

平成 19 年 7 月 24 日 標茶町 12 名

平成 19 年 7 月 24 日 弟子屈町 24 名

平成 19 年 7 月 26 日 釧路市（釧路市・釧路町・鶴居村を対象） 11 名

地域説明会の開催状況		
		
標茶町会場	弟子屈町会場	釧路市会場

(3) 原案に関する公聴会

【開催概要】

平成19年9月8日(土) 釧路交流プラザさいわい

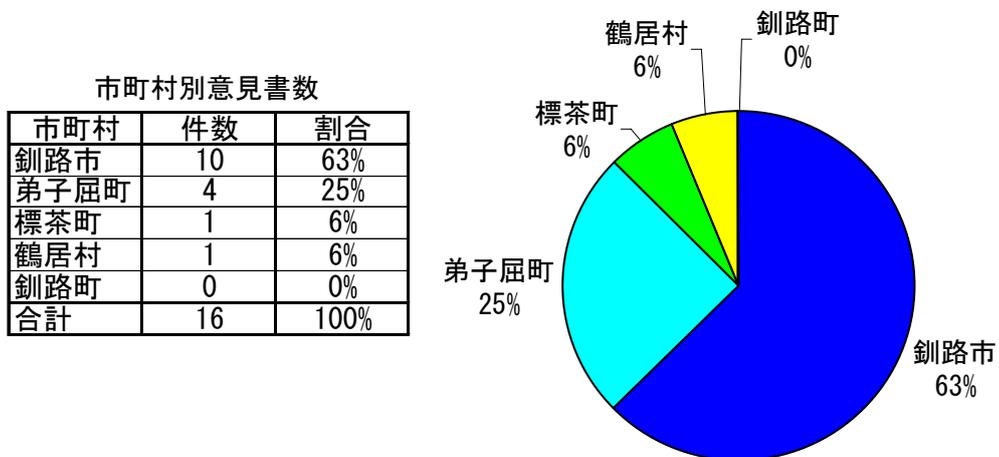
公述人3名、傍聴者5名(記名者)



公聴会の開催状況

(4) 関係住民の方々からの提出意見数

意見募集期間(平成19年7月11日～平成19年8月13日)において、郵送・FAX・メール等による意見書提出(記名意見)は16件。



(5) 関係住民からのご意見の概要

関係住民から寄せられた 16 件のご意見について、取りまとめた意見概要を以下に示す。

【①治水】

意見 1)

氾濫防止のため、新釧路川の砂州を除去して欲しい。

意見 2)

河川改修にあたり、原形を変える工事は慎み、不自然とならないよう慎重に実施して欲しい。

【②利水】

意見 3)

弟子屈に発電機となる水車を設置し、釧路川のエネルギーを利用して発電を行い、照明や買電などに活用して欲しい。

【③河川環境】

意見 4)

下流から上流まで、魚類が常に遡上可能となる施設を整備して欲しい。

意見 5)

釧路川の美観や鮭の回帰のため、また観光のため、岩保木水門を開放して欲しい。

意見 6)

芝のサッカー場やテニスコートを整備し、ゴミ箱やトイレを設置して欲しい。

意見 7)

景観や河川利用のため、桜の木や花などを河川沿いに植えて欲しい。

意見 8)

タンチョウから水銀が検出されていることから、釧路川への流入河川周辺の農地・ゴルフ場への規制・監視が必要。

意見 9)

水質改善のため、各河川に貝殻の蛇籠を埋めて欲しい。

意見 10)

釧路川を自然の姿に河川改修することは賛成であり、旧川復元により、地域の人々に良い結果となることを望む

意見 11)

幌呂川において、蛇行河川の復元が必要。

意見 12)

釧路湿原の生態系と釧路川水系河川の今後を考慮すると、川は本来蛇行しているという思考が必要。

意見 13)

水位上昇により生物の減少が考えられることから、旧川復元に際して河川の流れを良くする方法をとって欲しい。

意見 14)

釧路川上流において、釧路湿原の保全のため、河床低下対策を実施して欲しい。

【④維持管理】

意見 15)

子供達の安全性を確保して欲しい。

意見 16)

秩序ある河川利用のため、河川を監視して欲しい。

意見 17)

自然豊かな釧路川源流では、環境に配慮すべきであり、弟子屈市街の護岸について、それ自体環境として上手に利用するよう修復して欲しい。

(6) 関係住民からの提出意見 (原文)

① 釧路市在住

釧路川は自然の姿に河川改修することには賛成です
釧路湿原は以前ヤチノノ草は少なかったように思
いますが現在はかた増えたと見えて展望台からの眺め
はわかります。湿原の減少は、おし、若保木小川
の開放に下る。釧路市を流る釧路川は一般に美
しい。魚貝類も多くなると思っています。観光にも
プラスになると思っています。

② 釧路市在住

この釧路川一般の川、子供たちが
川で遊ぶ場所の数を減らすのは
良いこと、
若保木小川、グリーン川も若保木小川で遊ぶ
たくさん有りませう。
せめて大会を主に行わせて
あげたいです。

⑦弟子屈町在住

昔の釧路川は暴小川。それを改修するのから、でもその
治水と流用が事も考えるべきではあるか？ 大正の
後にはよく小ぶりお水。何か何か敷地して電力の
下しにまに行くと。CO₂削減にたまるか。
電力が安くてお水も。役に立つ。
一般の川が有る。お水の。巨額を
投じてお水が。将来有効でお水。私には理解不可能

⑧弟子屈町在住

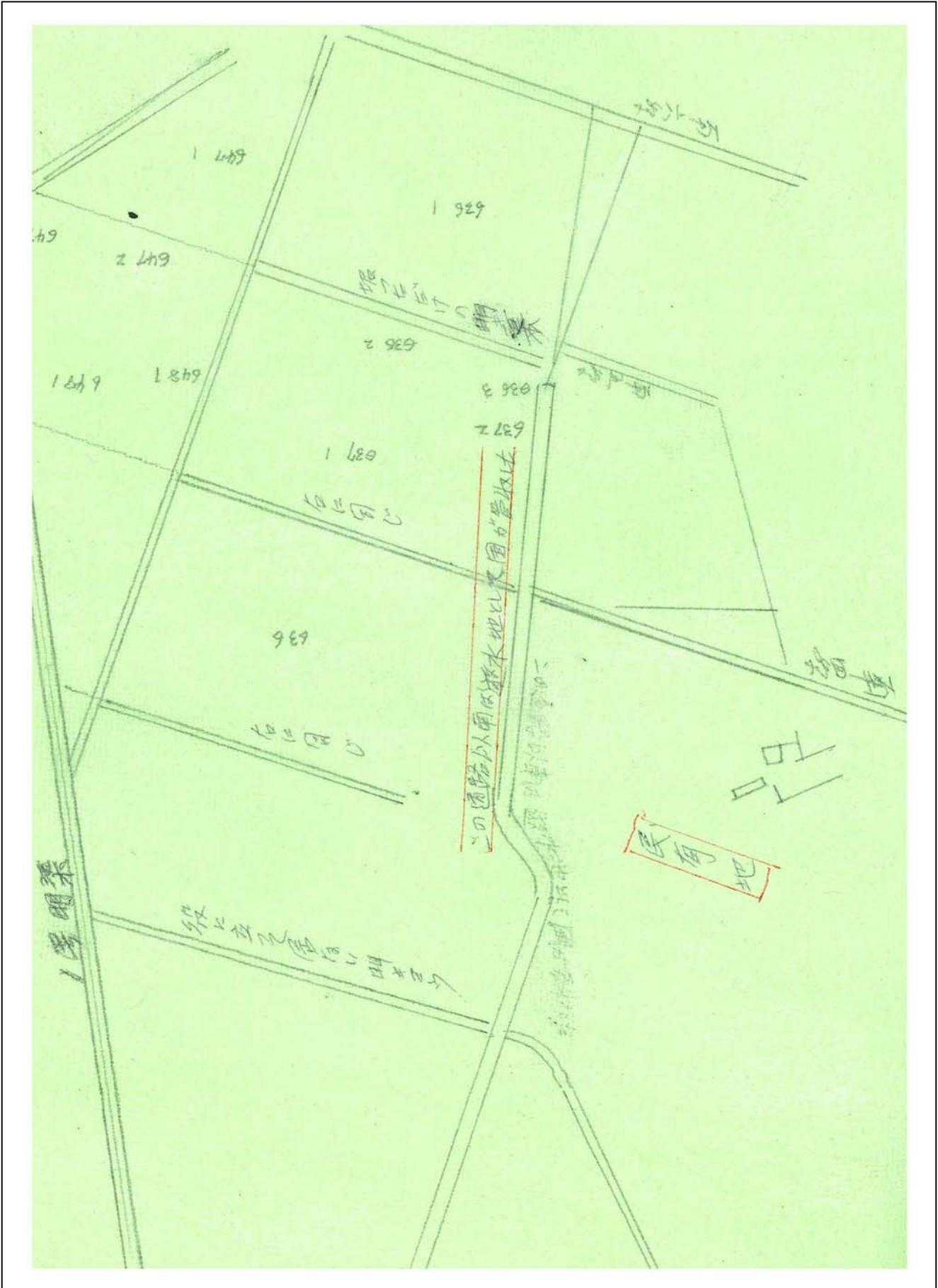
釧路川の流を見るたびに、この豊富な水の流が持つ
「エネルギー」を有効利用が事。出来ないかと思うのです。
河の中心に大きな水車(3重連、5重連)を設備し
その外観は観光に、回転力は発電に利用、電力は
街灯や川岸の散策道の照明に。又余った電力は
北電に買ってもらい、設備の維持管理費とするのは
いかがでしょうか。

⑨釧路市在住

湖邊橋の釧路川を整備したところでは
子供達を遊ばせるには、安全性の低い所には
集まってません。へい、何かで子供達が安
全に遊べる様に第一に考えほしいと
思います。テニスコートや、お水、ジギスカ
ン、散歩道に花が、あつた。桜並木が
あつた。ゴミ箱は、お水、トシ、お水、お水

この意見書は8月13日の原案¹の後に書すべきであることは充分
承知しておりますが私は87歳にもなる高齢の老人ですから明日の
命の保証もありません 計画に対する意見と云うよりも望みと受取
りて頂きたいわけでありませぬ 最近の新潟には剣鉾川水系
の乱れと希少の生態系の乱れが報道される様には
なりました 私はこの原因の大半以上は昭和46年以降に実
施された国営開拓パイロット事業に依るものだと思っております

⑩鶴居村在住(3/3)



⑪弟子屈町在住

意見=これまで、釧路川では古くから河川の改修が行われ、水害がほとんど無くなり感謝しております。この度の要望は、河川の蛇行がある程度直線化されたことにより、河川の川底の低下が進み特に、当別川と交わる箇所では非常に低下が激しく進んでおります。更に、下流部の南弟子屈地区においても河川の保護施設も脱落し、河中に滑り落ちようになっている箇所が数多く見られるようになっております。

新聞等によれば、釧路湿原に流入する小河川では洪水の毎に土砂が湿原内に流入するための防止策を講ずることが報じられております。釧路川の本川上流に於いても洪水の毎に川底の土砂がえぐり取られ、濁流により土砂が釧路湿原に沈殿することも考えられると思います。釧路湿原の保全保護のためにも、何らかの河底の低下を防止する方策を考えて貰いたいと思います。

なお、釧路川は古くから数多くの魚類が生息する河川であります。特に、「イトウ」の生息は最近の新聞では、非常に激減しているとのこと。特にお願いしたいことは、魚類が下流から上流まで常に遡上可能な施設を施していただきたい。

⑫釧路市在住

河川の復現に努めてはいるが、昔も良い川が流れていた。河川を切変せざるを得ない。その数年の増えが、川を越えたり。川沿いには、土木業者には、毎年、渡り、指道と。頂上、誠にありがとうございます。河川切変以前は、雪解水、川底は増水の時に、動物の死体、クマの死体、鹿の死体、木の死体、川の増殖、大変でした。浅瀬、繁殖、生き物の減少、多くの生き物の餌、川底の復現に、水質、土質、餌、生き物の減少、クマの死体、鹿の死体、木の死体、川の増殖、大変でした。

⑬釧路市在住

河川公園は夜など若者が花火をして遊ぶのを見ています。私もその音にびっくりする事があります。大人の方達もテントを叩き、焼き肉などをして、いますか。後始末をちゃんとしてくれるのだろうか？といつも思っているのを見ています。どなたか、お人視される方が居るといいと思います。キレイな川に成る事を望みます。

⑭釧路市在住(1/3)

ふるさと釧路川は川筋のに流れていない。
ぜひ、岩保木水門を解放して釧路発祥の
源である釧路川に鮭が回帰してこられる
環境を回復したい。

(参考資料)

今年の1月に里親の説た。そして少数ながらアベは吐き出す作業を練
明会を開いた。参加者にサリも発見した。約り部り返すことよって、健
父親が多かった。子供の隊はコマエ、キエウリウ、康な泥に受えてくれたの
教育は母親のものかと思才、沼カレ、ウケイなだ。年々サリが増え
っていたが、意外たこと
30代の世代ですでに木登
りをした経験者が少ない
よした。この世代の子供
のころは公園で水に
入ることも、野生植物を
食べることもなかったの
かもしれない。自然との
隔離が始まったいわば第
一世代が親となり、第二
世代の子供と二階に自然

体験をし直し始めたのだ
らうか。
ふるさと釧路川に架か
る「R根室線鉄橋の左岸
上流に「釧路川干潟」が
ある。10年ちょっと前ま
でここは、ゆで卵の腐っ
たにおいがしていた。そ
れが10年ほど前におい
が消えた。会員と子供た
ちで調べてみた。大野員、
バカガイなどシマシマやカ
ラス貝の仲間が驚くほど

の。役員も干潟の生物が
長い年月をかけてヘドロ
が溜まるとを知った冬、
真ん中の潮干狩りがき
がまだ残っているた。アサリは干潟の環境
を食べては吐き出し、食の人が、潮干狩りに押し
るは大きな結構なま
ま、アサリはたま
改善の役目を果たして
水遊びは心を開放する。

すべてのために甦れ! 「ふるさと釧路川」

下

子供に自然と触れ合う機会を



ササの種集の放流式に
参加した里親や市民
(5月5日)

るべき、潮干狩りの人
たおほわれて夢中で染っ
たうた。アサリを採る
ては湿度が過ぎると環境
浄化装置を壊して来り
ててくるた、と自
然と人間の生きるための
制薬(あいわき)がこ
にも出現した。
釧路は自然が豊かだと
いう。本並にそうであら
か。釧路の子供たちが自
然環境の中で遊ぶ時間
と、大都会の子供たちが
自然の中で遊ぶ時間は
ちがいのだろうか。
ある統計では、「変わら
ない」とも報告した。な
ある学者の意見だが、子
供の時に自分のあそび
の自然の中で遊び回った
人は「愛郷心、愛園心
が高まる」といふた。
そんな気がする。

子供のための干潟公園がい方のルールが必要だ。
ほしい。釧路川干潟は、第一世代から引き継げな
道を進めているリバーサカだったリルを、子供時
イドパーク構想の最終計代に体験するチャンス
面に入っている。ここに提供したほうがよい。安
都市型公園をつくる下案心で、面白く遊べる場所
がある。アサリを採るにがすくこの干潟にあ
して、自然との付き合い合る。

原案には、地域と一体となった河川管理とあります。(原案 p 7 1) ですので今年から、河川のそばに住む住民になった立場として、河川から意見を申し上げます。

標茶町旭の方々と話すと、「このあたりは風が強くて・・・」
「川から来る風がすごい。」「堤防沿いに桜並木でもあれば、素敵なのね。」などと話題になります。

そこで意見としまして、常盤橋から開運橋までの堤防沿いの区間を桜などの樹木で植栽したらどうかと考えています。

この2つの橋の間は、多くの人がウォーキング・ランニング・散歩などを行っている場所で、地域の憩いの場所でもあります。

美観を整備だけでなく、地域住民の憩いの場所として充実を図る事、さらに植林という環境保護のための取り組みを率先して行う事が、今後20年にわたる釧路川の河川整備計画の一部に盛り込まれてほしいと願っています。

まとめますと、計画高水位の事もありますので、洪水には影響の少ない堤防の舗装されている道の両側の植栽をと言う意見です。

⑩弟子屈町在住(1/2)

私達の生活にはその人達の住む地域、その場所によりそれぞれに適応した環境があります。コンクリートだらけの都心では、川の護岸をコンクリートブロックで造ることはあまり違和感がないかもしれませんが、自然豊かな釧路川源流にはもっと環境に配慮すべきと思います。現在では、ほとんどの護岸ブロックからセメントのアクが白く垂れながれて、見るに耐えられない状態です。護岸が垂直に近いせいもあり、お城のお堀の石垣に似て、人の近かすけない危険な場所のイメージになっています。

人々が水に触れ合い、川を利用しての行事を通して川と親しみ自然から潤いを受ける地域住民の生活があってもいいのではないのでしょうか。

川辺の水草や、木々が川の生物を育て、自然と共存する事がひいては海の生物の連鎖にもつながっていくこととなります。

現在の護岸になるまでは、川に中州がありそこには草花や木々が育ち、川辺には水草が豊富で本当に沢山の昆虫やトンボがあふれ、多種の魚や川エビ、ザリガニ、貝など数えきれない営みがあるリサイクルある環境でした。しかしその場所は、いまでは白鳥も留まっていれないほどの水の流れです。

川を開けて隔てるのではなくて、それを環境として上手に利用するよう修復をお願いします。

